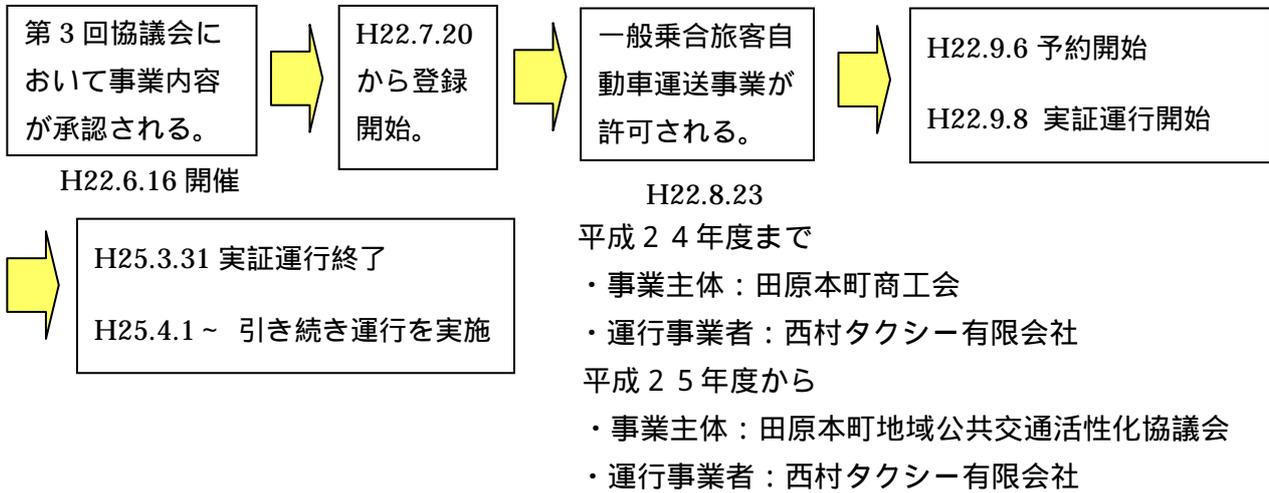


平成25年度 田原本町地域公共交通活性化協議会 事業報告

年 月 日	内 容
平成25年4月1日 ~	実証運行の結果を踏まえ、引き続きデマンド型乗合タクシーの運行を実施
平成25年5月31日	公共交通の利用促進及び駅前活性化に向けたマップ「ぼちぼち たわらもと」第3号を発行(5,000部)
平成25年6月24日	第9回田原本町地域公共交通活性化協議会の開催 ・平成24年度 事業、会計報告及び監査報告について ・平成25年度 事業計画、予算(案)について
平成25年9月30日	公共交通の利用促進及び駅前活性化に向けたマップ「ぼちぼち たわらもと」第4号を発行(5,000部)
平成25年10月7日 ~ 20日	田原本駅前活性化プロジェクト第1弾「やどかり市」の実施
平成26年1月9日	公共交通の利用促進及び駅前活性化に向けたマップ「ぼちぼち たわらもと」第5号を発行(5,000部)

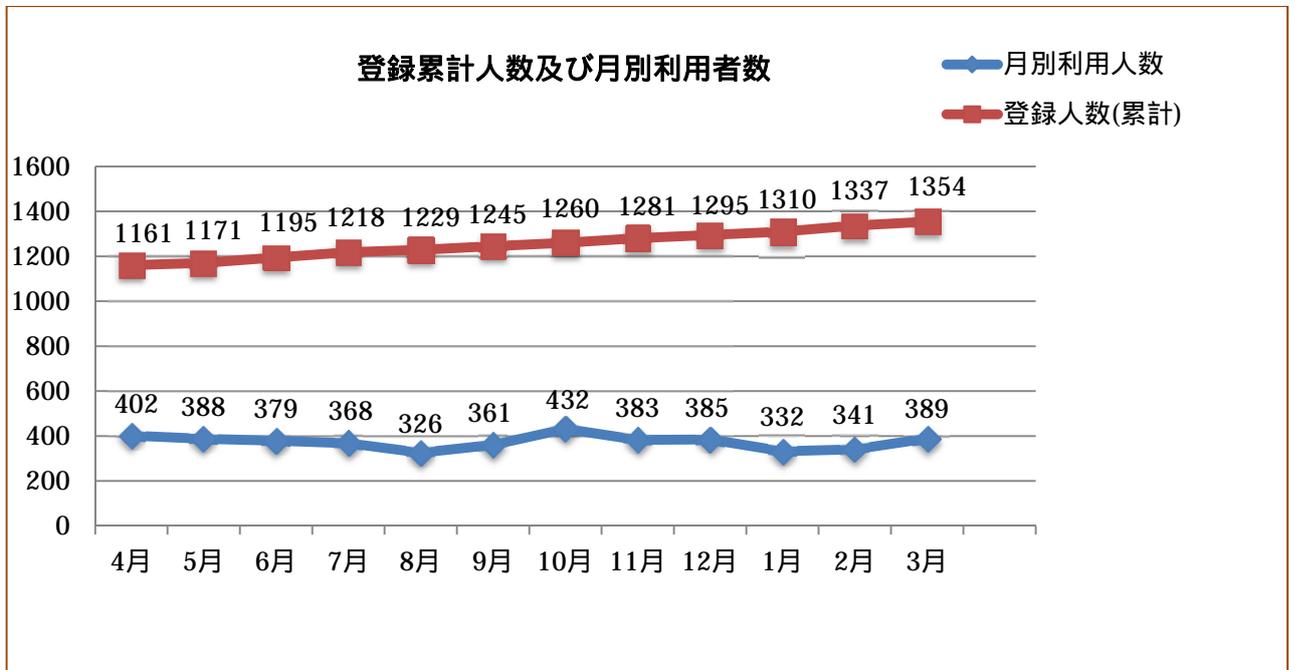
あいのりタクシー「ももたろう号」の実施状況について

1. 「ももたろう号」実証運行の経緯



2. 利用状況について

- 登録人数は毎月10~30人前後増加している。月別利用人数は320~430人前後で推移しているが、全体としては横ばいの状況にある。



登録累計人数及び月別利用者数

	運行日数	運行便数	1日当たりの利用者数	1日当たりの便数	1便当たりの利用者数	利用者数 (小学生未満含む)	登録人数 (累計)
平成23年度	244	1,502	13.0	6.1	2.1	3,180	898
平成24年度	245	1,765	17.5	7.2	2.4	4,290	1,213

	運行日数	運行便数	1日当たりの利用者数	1日当たりの便数	1便当たりの利用者数	利用者数 (小学生未満含む)	登録人数 (累計)
平成25年度 4月	21	176	19.1	8.3	2.2	402	1,161
5月	21	178	18.4	8.4	2.1	388	1,171
6月	20	175	18.9	8.7	2.1	379	1,195
7月	22	181	16.7	8.2	2.0	368	1,218
8月	22	165	14.8	7.5	1.9	326	1,229
9月	19	153	19.0	8.0	2.3	361	1,245
10月	22	191	19.6	8.6	2.2	432	1,260
11月	20	169	19.1	8.4	2.2	383	1,281
12月	19	166	20.2	8.7	2.3	385	1,295
1月	19	148	17.4	7.7	2.2	332	1,310
2月	19	148	17.9	7.7	2.3	341	1,337
3月	20	170	19.4	8.5	2.2	389	1,354
平成25年度 合計	244	2,020	18.3	8.2	2.2	4,486	1,354

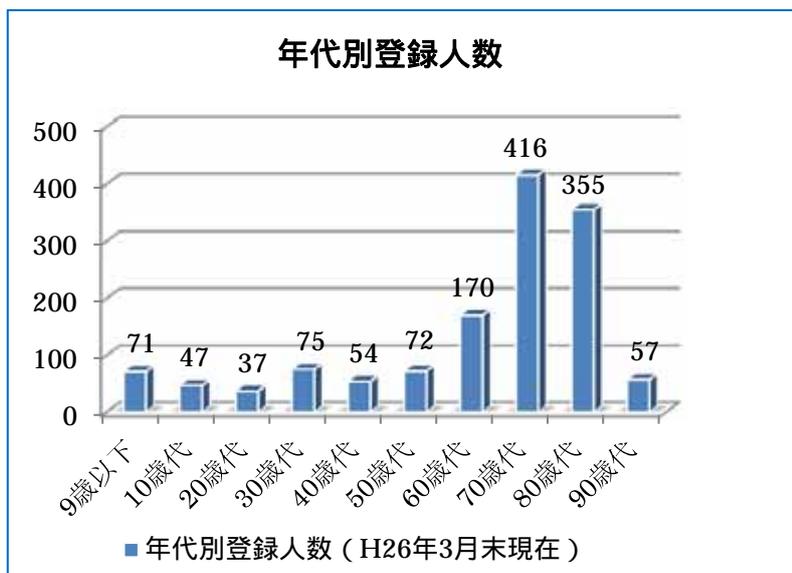
登録人数

平成 26 年 3 月末 1,354 人

平成 25 年 3 月末 1,213 人

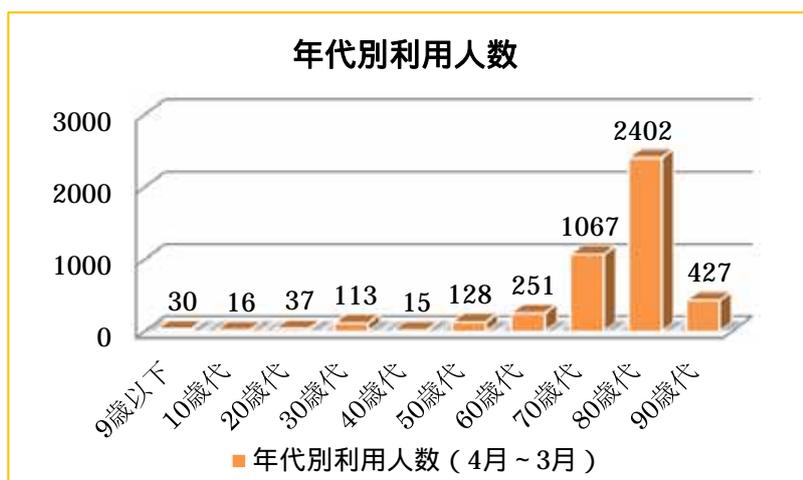
141 人・11.6% 増加

- ・年代別登録人数では、60歳以上の登録が全体の73.7%となっている。前年度が73.8%であったので、ほぼ同じ比率である。



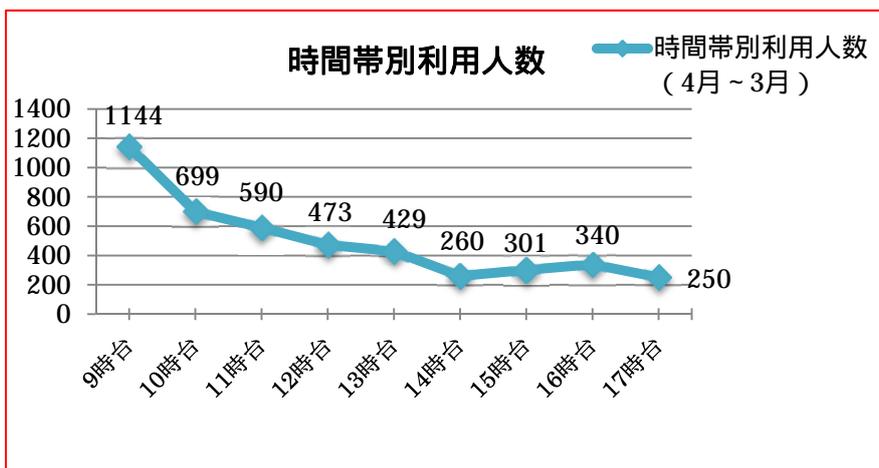
年代	登録人数
9歳以下	71
10歳代	47
20歳代	37
30歳代	75
40歳代	54
50歳代	72
60歳代	170
70歳代	416
80歳代	355
90歳代	57
合計	1,354

- ・年代別利用人数では、60歳以上の利用が全体の92.4%を占めている。特に70、80歳代の利用が多い。



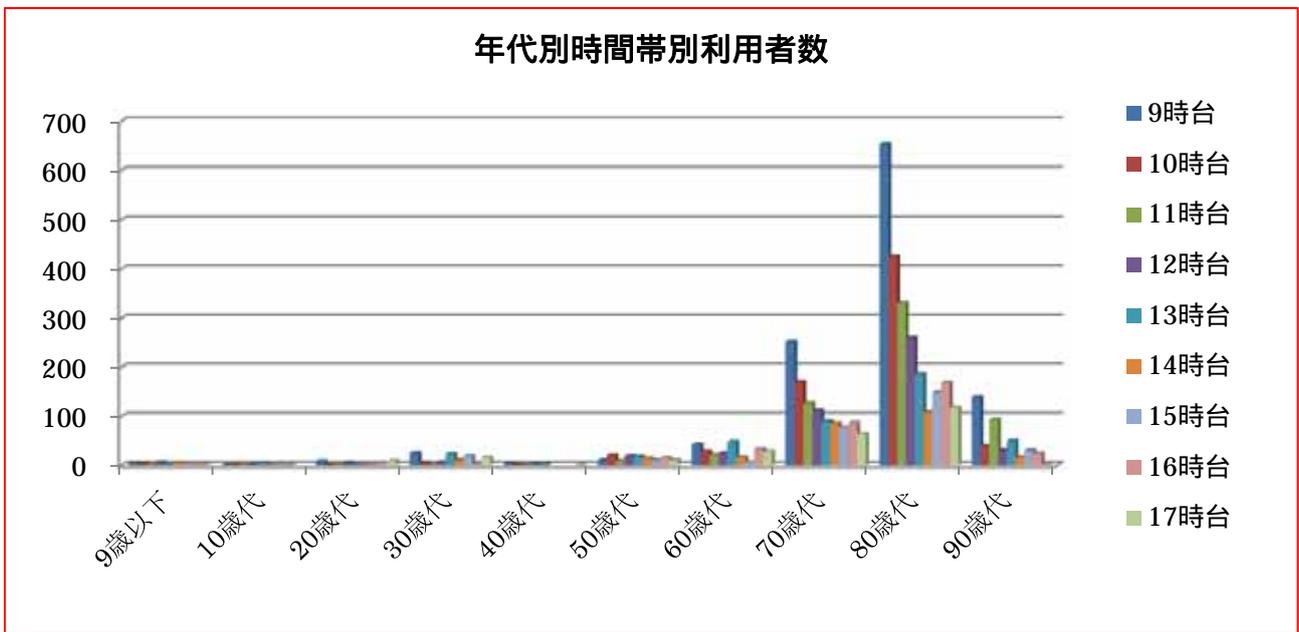
年代	利用人数
9歳以下	30
10歳代	16
20歳代	37
30歳代	113
40歳代	15
50歳代	128
60歳代	251
70歳代	1,067
80歳代	2,402
90歳代	427
合計	4,486

- ・時間帯別利用人数については9時台をピークに午前中の利用が多く、17時台が最も少ない時間帯となっている。



時間帯	利用人数
9時台	1,144
10時台	699
11時台	590
12時台	473
13時台	429
14時台	260
15時台	301
16時台	340
17時台	250
合計	4,486

- ・年代別時間帯別利用者については、80歳代の9時台の利用が最も多い。
全体的には80歳代、70歳代の午前の利用が多く、次いで夕方近くの利用が多い。



	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	合計
9歳以下	5	4	1	7	2	5	3	2	1	30
10歳代	1	1	2	2	5	1	2	2	0	16
20歳代	8	1	2	6	2	2	2	5	9	37
30歳代	26	6	1	7	24	11	19	3	16	113
40歳代	4	2	1	3	4	0	0	0	1	15
50歳代	10	21	9	19	18	14	11	15	11	128
60歳代	43	28	22	26	48	16	7	33	28	251
70歳代	253	170	127	112	90	86	77	87	65	1,067
80歳代	654	426	332	260	186	109	149	168	118	2,402
90歳代	140	40	93	31	50	16	31	25	1	427
合計	1,144	699	590	473	429	260	301	340	250	4,486

・時間帯別定員超過件数

	9時台	10時台	11時台	15時台	計
平成24年度	195	49	8	2	254

(平成25年4月～26年3月)

平成25年度から9～10時台を2便に増便したことにより定員超過はほぼ解消した。

	9時台	10時台	11時台	15時台	計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	1
3月	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	1

・時間帯別目的地別利用状況

目的地については田原本駅が最も多く 569 件であり、その内午前中の利用が多い。

	9 時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	合計
田原本駅東出口	135	95	21	21	22	36	38	10	11	389
国保中央病院	146	84	15	14	13	9	1	0	0	282
田原本駅西側(駅前広場)	80	35	16	16	18	8	4	2	1	180
ふれあいセンター	7	20	56	36	16	13	10	15	3	176
根元整形外科眼科医院	117	30	5	1	0	0	0	4	1	158
忠岡医院駐車場前	80	42	12	0	0	0	0	14	2	150
奈良県総合リハビリセンター	60	39	8	20	13	7	0	0	0	147
イベント広場南側 (お地藏さん前)	99	17	0	1	3	0	0	0	0	120
東八田集会所前	0	0	3	12	3	13	10	19	53	113
老人福祉センター	38	39	2	1	30	2	0	0	0	112
青垣生涯学習センター	30	10	4	14	14	3	1	1	25	102
佐味岡崎宅前	0	1	22	17	5	1	22	7	15	90
森田整形外科医院	73	7	4	0	0	1	0	0	1	86
西新町ハイツロック東側	0	1	7	5	1	5	1	15	50	85
おくやま新町店	25	21	8	7	8	7	2	1	2	81
近鉄黒田駅前	4	0	0	1	0	2	4	58	7	76
その他停留所	250	258	407	307	283	153	208	194	79	2,139
合 計	1,144	699	590	473	429	260	301	340	250	4,486

・利用者の住所（自治会）については駅から離れた自治会が多い。

利用者自治会	回数	利用者自治会	回数	利用者自治会	回数	利用者自治会	回数
佐味	318	ピアッツァコートone	114	島の町	59	平野	14
八田	307	伊与戸	112	三笠	59	南阪手グリーンタウン	14
西新町	295	西八尾	112	味間	57	東井上	12
金澤	284	西大木	103	八尾	57	為川南方	11
南千代	235	阪手南	100	笠形	49	平田	11
法貴寺	234	西大安寺	97	西代	49	阿部田	8
薬王寺	178	唐古	87	阪手根太	45	九品寺	8
笠縫	163	為川北方	84	新町	30	秦楽寺	8
黒田	140	大網	82	南三笠	23	みどりの団地	8
八条	140	南薬王寺	78	矢部	23	戒通二	7
多	129	宮森	69	阪手北	17	幸町	7
蔵堂	120	笠形第一	66	保津	16	大木	6
今里	118	西井上	62	松本	15	富本	6



田原本町デマンドタクシー利用実人数(平成25年4月～平成26年3月)

利用回数	人数/比率	延回数/比率	1人平均回数
1～10回	182人/ 63.9%	632回/ 14.1%	3.5回
11～20回	38人/ 13.3%	560回/ 12.5%	14.7回
21～30回	20人/ 7.0%	496回/ 11.1%	24.8回
31～40回	12人/ 4.2%	433回/ 9.7%	36.1回
41～50回	6人/ 2.1%	272回/ 6.1%	45.3回
51～60回	9人/ 3.2%	484回/ 10.8%	53.8回
61～70回	6人/ 2.1%	401回/ 8.9%	66.8回
71～80回	4人/ 1.4%	304回/ 6.8%	76.0回
81～90回	1人/ 0.4%	83回/ 1.9%	83.0回
91～100回	1人/ 0.4%	94回/ 2.1%	94.0回
100回超	6人/ 2.1%	727回/ 16.2%	121.2回
合計	285人/ 100%	4,486回/ 100%	15.7回

・再掲

利用回数	人数/比率	延回数/比率	1人平均回数
21回以上	65人/ 22.8%	3,294回/ 73.4%	50.7回

・登録者の利用率

登録者数 (H26.3月末)	1,354人	利用者数	285人	利用者割合	21.0%
-------------------	--------	------	------	-------	-------

国保中央病院線の利用促進について

国保中央病院線について、利用促進のため停留所の増設について奈良交通株式会社と協議を実施した。また、路線そのものの認知度や利用度が低いことから、国保中央病院や保健センターの利用者等に対し、広報「たわらもと」や公共交通及び駅前活性化に向けたマップ「ぼちぼち たわらもと」で啓発活動を実施した。

○奈良交通株式会社と協議

平成 25 年 9 月 4 日・平成 26 年 1 月 29 日 2 回実施

○広報「たわらもと」掲載

平成 25 年 4 月号・平成 26 年 1 月号 2 回掲載

○「ぼちぼち たわらもと」掲載

平成 25 年 5 月発行(第 3 号)・平成 25 年 9 月発行(第 4 号)・平成 26 年 1 月発行(第 5 号)

3 回掲載

国保中央病院線を利用しよう

田原本バスセンター（田原本駅前広場）から国保中央病院までのバス路線があります。国保中央病院や 4 月にオープンした保健センターを利用する場合はバスが便利です。皆さんもどんどんご利用ください。



国保中央病院線の時刻表

時刻		7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
病院中央 行	平日用	38		13	25	50	22					17	7
	第1・3・5 土曜日	59	33	55	58	50	50	50	50	53	52	42	32
バスセンター 田原本 行	平日用		10		14	18	2	2	2	2	4	5	
	第1・3・5 土曜日	49	44	44	47		32					30	20
		49	44	47		17	6	2	2	2	6	20	46
		49	44	47			32					55	46

第 2・4 土曜日と日曜日、祝日の運行はありません。

広報「たわらもと」掲載記事

国保中央病院線をご利用下さい!

田原本バスセンター（田原本駅前広場）から国保中央病院までのバス路線があります。国保中央病院や隣接の保健センターを利用する場合は、バスが便利です。是非ご利用下さい。



国保中央病院線の時刻表

時刻		7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
病院中央 行	平日用	38	33	13	25	50	22					17	7
	第1・3・5 土曜日	59	55	58	50	50	50	26	26	26	32	42	32
田原本 バス セ	平日用		10		14	18	2	2	2	2	4	5	
	第1・3・5 土曜日	49	44	44	47		32					30	20
		49	44	47		17	6	2	2	2	6	20	46
		49	44	47			32					55	46

第2・4土曜日と日曜日、祝日の運行はありません。

「ぼちぼちたわらもと」掲載記事

公共交通及び駅前活性化に向けたマップづくりについて

1. 概要

「田原本町地域公共交通総合連携計画」における「公共交通利用促進に向けた情報提供・PR」施策は、取り組みを通じて地域の活性化にもつながることから、地元商店関係者等が中心となって、地域の魅力をマップ形式で発信するため、ワークショップ(WS)を行い、「ぼちぼち たわらもと」の作成に取り組んだ。

2. 平成25年度取組状況

公共交通及び駅前活性化に向けたマップの発行

.平成25年5月31日(金)

「ぼちぼちたわらもと」第3号 発行 発行数 5,000 枚

.平成25年9月30日(火)

「ぼちぼちたわらもと」第4号 発行 発行数 5,000 枚

.平成26年1月 9日(木)

「ぼちぼちたわらもと」第5号 発行 発行数 5,000 枚

ワークショップの開催

平成25年4月25日(木) ~ 平成26年3月27日(木) 延べ17回開催

いずれも 19時00分 ~ 21時00分

田原本駅周辺活性化検討業務について

～ 田原本駅東側戎通商店街活性化について～

1. 空き店舗活用イベント「やどかり市」の実施

a) 空き店舗の活用

(1) 空き店舗の立地状況

- ・戎通商店街の建物全体(79件)のうち、営業している店舗は39件(49%)であり、住宅として利用しているは32件(41%)であった。空き店舗は8件であり、そのうち「活用意向あり」は7件、「活用意向なし」は1件であった。

(2) 空き店舗の活用

- ・空き店舗の所有者に対してヒアリングを行い、空き店舗の活用の意向を把握した。
- ・7件の空き店舗と2件の住宅(軒先のみ)をやどかり市に活用することができた。
- ・店舗部分があっても住宅として利用している建物は活用意向が低く、その理由としては、住居と店舗スペースが隣接していること、店舗部分をすでに物置や住居スペースの一部として利用していることが挙げられた。

実施内容

- ・空き店舗立地状況の調査
- ・空き店舗所有者の把握
- ・空き店舗の活用意向の把握
- ・空き店舗使用依頼、契約締結
- ・空き店舗清掃
- ・電気設備の確認及び工事
- ・空き店舗の火災保険加入

空き店舗の活用意向

形態	件数	割合
営業中店舗	39件	49%
空き店舗	8件	10%
住宅	32件	41%
合計	79件	100%



写真 工芸品展示	写真 店舗例 (立体組木)
写真 店舗例 (花屋)	写真 磯城野高校に よる庭作り

b) 事業者の出店意向の把握

やどかり市では6店舗（業種は整体、木工品関係（3つ）、インド料理、花屋）が出店した。
（事業者アンケート対象：14名）

(1) 事業者の意向

Q) 「やどかり市」のような空き店舗利用の取り組みについてどう思うか

非常によい	よい	ふつう	悪い	非常に悪い
9名	4名	1名	0名	0名

Q) このような取り組みがあればまた空き店舗を借りたいか

借りたい	借りたくない
13名	1名

・今後のイベントでの出店意向 13名が「今後も短期の出店意向あり」

Q) 常設店舗として長期的に空き店舗を借りたいか

借りたい	借りたくない	不明
8名	5名	1名

・その後の常設店舗の出店状況（平成26年3月31日現在）

2店舗が常設店舗として営業中

(2) 事業者の評価

- ・ 駅周辺への良い評価：まちの雰囲気良かった、思っていたよりも賑やか
- ・ 駅周辺の課題：商店街の道幅の狭さ、車両の通過交通の多さ、駐車場不足
- ・ 空き店舗活用の課題：建物間口の狭さ、設備の老朽化、トイレが使用できない

c) 駅前のにぎわいづくり

(1) アンケートによる来場者の意向を把握

- ・ 商店街の来訪頻度は「今回初めて」が42%と最も多い。
- ・ 来訪の動機は「店舗イベントへの興味」(42%)、「知人に誘われて」(32%)が多い。

参考資料

やどかり市の来場者数の推移（単位：人）



2 . 空き店舗を活用した駅周辺活性化の成果と課題

【店舗併用住居は空き店舗の活用意向が低い】

- ・ 空き店舗を住居と併用している場合が多く、居住面の問題から店舗としての活用意向がない場合が多いことが明らかとなった。
- ・ 駅周辺活性化イベント「やどかり市」を実施し、7 件の空き店舗を活用することが可能となった。
- ・ 事業者がイベントで出店したことをきっかけに、常設店舗の出店につながった。

【短期イベントの出店意向は高いが、長期の出店では課題】

- ・ 出店事業者の評価では、駅周辺の立地の良さを高く評価しており、今後も短期イベントの出店意向があることから、今回のネットワークを活かしたイベント実施が継続できると考えられる。
- ・ 長期的な出店では、立地性、商店街の道幅の狭さや駐車場の未整備、建物の設備面など課題が多いことが明らかになった。

【イベントにより休日も駅周辺のにぎわいづくりが可能】

- ・ イベントを実施することで商店街を日常的に利用しない人が休日も駅周辺に訪れることから、魅力ある店舗等、目的となる場所があることで駅周辺に人が訪れることがわかった。
- ・ イベント時に商店街の店舗が閉まっているなど、連携ができていない点が課題として挙げられた。

3 . 今後の取り組みの方向性

今回のやどかり市をきっかけに2軒の常設店舗が出店しており（平成26年3月31日現在）、今後も引き続き、空き店舗活用の取り組みをすすめる必要があると考えられる。

事業者の出店においては駐車場や道路交通環境が課題となっており、今後、中長期的にハード整備をすすめる必要があると考えられる。

今後は、商店街、商工会や関係団体と連携し、取り組みの幅を広げていくことが望ましい。